

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 単発肝細胞癌における切除断端距離 1mm 未満症例の検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院消化器外科 (研究責任者)小林 直哉</p>
<p><研究期間> 本研究計画承認日-2020年7月31日</p>
<p><研究の目的と意義> 肝細胞癌肝切除において適切な切除断端距離は明らかではない。肝細胞癌肝切除において切除断端距離が予後に寄与するかを明らかにするために、最低限度である切除断端距離 1mm 未満症例を検討する</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 研究対象者基本情報:年齢、性別、ビリルビン値、肝炎の有無、肝機能、腎機能など 肝細胞癌肝切除により切除された組織検体。 肝切除術後の無再発生存期間、全生存期間について。</p>
<p><対象となる患者さん> 2001年から2012年の期間で、肝細胞癌初回治癒切除症例</p>
<p><研究の方法> 2001年から2012年までの当科で施行された肝細胞癌初回治癒切除例 647例を対象とする。検体の肉眼所見については日本肝癌研究会の分類によって腫瘍の形態を分類する。切除断端陰性かつ切除断端距離 1mm 未満の Marginal Resection 群と、1mm 以上の Non-Marginal Resection 群の 2 群に分ける。さらに両群の背景因子を調整し全生存及び無再発生存、また再発形式に両群間に有意差があるか比較検討する。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 消化器外科 氏名:小林 直哉 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2471 (PHS)8901</p>